

やる気は自発的に出せるか？

節目の時期というのは、何かと新鮮な気持ちで物事に取り組みめるものですが、しばらくするとその気持ちも曇ってきて生活に張りがなくなってしまうがちです。ちょうど先日、中学生に対して「やる気」をテーマにお話をしたので、その一部を皆さんにもお伝えしたいと思います。やる気というのは、うれしい、悲しいなどの気持ちというカテゴリに属するのではないかと思います。では、気持ちというのは自発的に出すことができるのでしょうか。やってみれば分かることですが、何も無いときにうれしくなったり悲しくなったりはできないはず。試験でよい点をとったからうれしかったり、推しのアイドルが引退宣言をしたから悲しくなったり、感情の発露には必ずと言っていいほど「外部要因」が存在します。これをやる気に置き換えて考えると、「やる気を出そう」などと思っても、それで自然とやる気満々にはならないということです。自分の意志などというものはあてになりません。やらざるを得ない状況に自分を追い込むのです。要するに、自習に来ましようということです。(酒井昂佑)

日	土	日	月	土	日	月	土	日	月	土	日	月	土	日	月	
4/24																
25																
26~27																
29~5/5																
6																
8																
9																
10																
15																
16																
22																
23																
29																
30																

生産性をもとめるとは

現代は情報に振り回されることがよくあります。ニュース、新聞、インターネットなど、様々な媒体からひっきりなしに情報が流れ込んできて、みなさんの「無」を埋めていきます。もちろん、「無」なんてない方が効率的に時間を使えてよいのだという向きもあるでしょう。しかし、革新的な発見やアイデアは「無」から生まれることが多いのです。とにかく現代人は効率を求めるあまりに「無」を不用意に捨てすぎたのではと感じています。子どもたちの学習姿勢にしてもそうです。じっくりと考えても前に進まない時間を許容することができず、すぐに解法や解答を求めてしまう。本当はこの一見すると何も生み出さない時間が大切なのに。〔金子祐太〕



サンテレビ 兵庫県
高校入試解答速報。
今年も金子教室長
がんばりました。
ぜひご覧ください。



3月の「自習王」決定!

- ★中学生の部
中3 竹内 未来 **48.5時間**
- ★高校生の部
高3 堤 颯志 **156.5時間**

謙虚に、したたかに

理由は分からないのですが、毎年これくらいの時期になると、自分には謙虚さが足りていないのでは？と普段以上に思い悩むことがあります。教壇に立つ以上、ある程度の自信は必要でしょうが、それも過ぎればただの傲慢。「先生」と呼ばれる仕事だからこそ、今の自分に満足せず勉強を続けていきたいもの、そう考えて、去年は資格を2つ取りました。今年も1つは取りたいと思います。(酒井昂佑)

5月分
学費の振替

4月
27日
(火)

毎月の口座振替は27日(金融機関休業日の場合は翌日)となっております。
受講変更等ございましたら毎月10日までにご連絡をいただけますよう、ご協力をお願いいたします。

まるでメディアは「ダメな親」

ちょっと前の話ですが、私と中3塾生との立ち話で、こんなやり取りがありました。「Sさん。今回の期末、めっちゃがんばったやん!」、(S:泣き崩れる)、「どうしたん?」、S「がんばったのに、ママが全然ほめてくれへん…。どうやらお母さんは、彼女が5科で100点以上伸びたことをスルー、一番低い点の教科を指摘して娘を叱ったようでした。これは、はっきり言ってお母さんが悪い! 自暴自棄に陥りそうな彼女を必死でフォロー。何とか収まりましたが、こういうところから勉強嫌いや反抗期が始まる…と感じました。そう言えば最近、テレビなどメディアの報道があまりに酷い。コロナ報道では、国民ががんばって感染対策をして陽性者数が減少しても、「先週より増加」、「重症者数は〇〇名」、「(一番少なかった) 昨年の〇月〇日と比べて●●倍」、「でも変異ウイルスがー」とかで、たまに良い数字が出て、すぐにゴールポストを動かして、絶対に「がんばりましたね!」と、ほめる言葉などまったくなく、常に視聴者をあおる報道ばかりでもうウンザリ…。

まるでメディアは「ダメな親」。そんなテレビ番組のキャスターやコメンテーターのネガティブワードの影響を受けて、「ほめずに叱るだけの親」なんかにはならないように…と心から祈っています。〔北村昌弘〕



代表北村の独り言

最近大手塾が大人気で効率のよいオンライン授業配信に味を占めて、お金儲けに走っています。1対100や酷い場合は1対500とか。特進館学院はご承知の通り**コロナ対応教室。最高水準の感染対策**で子どもたちと**対面で楽しく勝負**します!

編集
後記

コロナウイルスの再拡大に不安を感じながらも、新学期がスタートしました。我が家も下の子が中学生になり、大きめの制服に身を包み、新しい通学カバンで登校するようになりました。中学校での授業スピードやまた先の定期テストを心配しながらも、新しいお友だちとの交流や部活動への参加など、楽しみなことのほうが多いようです。昨年度は実施されなかった転地学習も現時点ではスケジュールに入っており、ひとつひとつの行事が予定通り実施されることを祈りながら、コロナ関連ニュースが流れるテレビにとらめっこする毎日です。